

〔曲名〕 Terza Piccola Suite

第三小組曲

〔曲種〕

〔作曲者〕 Giulio de Micheli

ジョリオ デ ミケーリ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

各楽章が伊、仏、独、英、の四カ国語に書いてあるので、これらと内容を参照して訳名を決めた。

I. Tramonto

Le cuocher du soleil

Sonnen-Untergang

At Sunset

黄昏

II. Serenata alla Luna

Clair de la Lune. serenade

Mondschein-Serenade

Moonlight Serenade

月光セレナータ

III. Voci del Mattino

L'Aube Premiere

Des Tages Erwachen

Dawn of Day

夜明け

IV. Festa di Sole

Fete solaire magique

Triumph der Sonne

Sunrise(Morning Glory)

太陽賛歌

所要時間 I. 41/2min II. 41/2min III. 6min IV. 3min 計18min

この作者のエジプトの幻影に魅せられたので、この曲はかねての懸案であった。

頻繁（ひんぱん）に拍子が変わり、特に調が馴染みのないもので演奏上の難点がつき纏（まと）うので、編曲を何度躊躇したかわからない。

が、原調は何としても重んじたいので勇を鼓してそのままとした。

作者について詳かにしないのは何としても残念でならないが、冒頭に感謝感激のしるしとしてアンドレア、フォルクマー博士に捧ぐとある。

原曲は大編成の管弦楽曲になっている。

マンドリン古典合奏曲集31集より

〔追記〕

ジョリオ デ ミケーリ(Giulio de Micheli)

については中野氏の後継者でマンドリン独奏家、研究者でもあるSMD（同志社大MC）のOB、石村隆行氏が渡伊されかなり詳しいことが判明してきてます。それによると

デ・ミケーリは1889年9月26日イタリア北部リグリア州のラ・スペチアに生まれ、1940年に同地で逝い

た作曲家兼ヴァイオリニストである。

彼はわずか5歳からヴァイオリンを学び、15才の時にその学位を得た。

その後パルマに移りボイト音楽院にてロメオ・ファンツォーニ氏に師事し、5年後最高の成績と賞賛の下に教授としての資格を得た。

しかし彼はそのまま音楽院に残り、イターロ・アッツォーニ氏に師事して対位法とフーガを学んだ。

26歳の時にブリュッセルのトムソ音楽学校に入学し、ヴァイオリンのヴィルトーソとして1年後には大賞を得た。

続いてチューリッヒ音楽院校長のアンドレア・フォルクマー氏に師事して作曲法を学んだ。

そして彼の演奏会はイタリアの大半の都市でなくフランスやスイス・ドイツ・エジプト等で大成功を収めた。

彼は主に、ベルガモのコボと生地ラ・スペチアで活動を続け、そして彼の作品は皆にこよなく愛された。

事実当時特にドイツに於いては、彼の作品をレパートリーに含めていないオーケストラはないほどで、オペレッタ「ブドウ畑の恋」等はラジオで何度も放送されたいらしい。

また彼の一連の組曲は皆から絶賛されており、その中には既知の「第2小組曲」「第3小組曲」「エジプトの幻影」の他に

「第1小組曲」「田園にて」「追憶」「子どもたちの遊び」「愉快的組曲」等がある。

この他にも多数のカンツォーネ・オペラ・管弦楽曲等あらゆる種類の曲を作曲し、皆に親しまれかなりポピュラーな作曲家であったらしい。

本曲は彼がチューリッヒで学んだアンドレア・フォルクマー氏に捧げられたもので、原曲は大編成の管弦楽曲で頻りに拍子が変わり、

特に調子が馴染みのないもので演奏上かなり難易度の高い曲である。

「 「 「 「